

平成 30 年度第 1 回鹿児島市交通事業経営審議会

日時	平成 30 年 6 月 29 日（金） 13：30～14：30	会場	交通局 3 階 第 2 会議室
出席者	古川会長、小山委員（副会長）、上川路委員、玉川委員、寺山委員、石田委員、岩崎委員、金子委員（8 名）		
市出席者	交通事業管理者、交通局次長、渡辺 総合企画課長、井手上 経理課長、祝井 総務課長、山内 電車事業課長、西園 バス事業課長、神戸 総合企画課企画係長、島名 経理課財務係長、中木屋主査、西村主任（11 名）		
会次第	1 開会（新任委員、転入者紹介） 2 議事 (1) 副会長の選任 (2) 自動車運送事業の抜本的見直しに係る答申及びその後の経過等について (3) 第二次経営健全化計画の進捗状況について (4) 平成 30 年度鹿児島市交通事業特別会計予算について 3 その他 4 閉会		

会次第 2-(1) 副会長の選任

発言者等	協議事項・質疑・回答等
会長	副会長を務められていた林委員が辞任されたので、副会長を選任したい。 審議会規程により、副会長は委員の互選により決定することとなっており、自薦、他薦を問わず、適任と考える方がおられたらご推薦いただきたい。
委員	前任者の林氏と同じ鹿児島大学の准教授であり、都市計画が専門とのことであるので、小山委員ではいかがか。
委員	異議なし。
会長	異議なし、とのことであるので、副会長を小山委員に決定する。

会次第 2-(2) 自動車運送事業の抜本的見直しに係る答申及びその後の経過等について

発言者等	協議事項・質疑・回答等
会長	昨年度最後の会議で、みなさんから了承をいただき、3月29日、私のほうから交通事業管理者に対し答申を提出したところである。その後の経過等について、事務局から報告があるとのことなので、説明をお願いする。
事務局	<p>資料③をご覧いただきたい。</p> <p>まず、経過であるが、「自動車運送事業の抜本的見直し」については、昨年度 5 回に渡って本審議会でご審議いただき、3 月 29 日に古川会長から交通事業管理者へ答申をいただいた。4 月 16 日に交通局の設置者である市長へ答申内容について報告を行い、その後、4 月 25 日に局議を開催し、「局としては、将来的に交通事業全体の事業継続が可能となるよう経営改善を図るため、民間事業者への路線移譲等により事業規模を縮小する自動車運送事業の抜本的見直しに取り組むこととする。」という方針を決定した。その後、5 月 14 日から 21 日にかけて、バス事業課の全職員を対象とした説明会を計 5 回開催し、審議会答申や局の方針について説明した。そして、去る 6 月 22 日の市議会の常任委員会において、審議会の審議経過、答申内容等について、報告したところである。</p> <p>次に、今後の予定であるが、今年度は、現在、路線移譲の具体案づくりを行っており、それをもとに民間事業者との協議を行っていく予定である。31 年度には、抜本的見直し案を含む、第 3 次経営健全化計画の策定を進め、32 年度から、計画に基づく取組を推進してまいりたい。</p>

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	バス事業課職員への説明会を5回されたとのことであるが、説明の内容、またその感触や出された意見はどのようなものがあったのか。
事務局	乗客数の推移やバス事業の経常収支状況、今後の経営見通し、他の公営事業者の事業廃止・縮小の事例など、事業縮小という答申に至った理由について説明した。職員からは、今後の処遇及びスケジュールについて質問があり、民間事業者との交渉等もあるのでスケジュールについては具体的には申し上げられないが、職員処遇については市への出向も含め、最大限配慮してまいりたいと説明した。

#### 会次第 2-(3) 第二次経営健全化計画の進捗状況について

(渡辺課長が、資料に沿って説明)

発言者等	協議事項・質疑・回答等
委員	9ページ16番の全国共通ICカードの導入検討に、「片利用」とあるが、これはSuica等を市電で利用できるように検討するものと理解して良いか。自治体の導入状況は。
事務局	県外からの方などがSuica等を使えるようにする一方で、ラピカは全国では使えないまま、というものが「片利用」である。全国的には、全国共通ICカードの導入による「相互利用」が進んでいる傾向であり、JR以外の二次交通でも共通ICカードが使える県庁所在地は47都市中26都市、残りの都市は、地域独自のICカードを導入しているか、全く使えないかである。
委員	計画の進捗状況を一言で説明するとどうであるか。
事務局	計画の進捗状況としては、目標数値も目標効果額も概ね達成しており、順調と言える。ただ、資金計画としては、交通局跡地の土壌対策の影響もあり、非常に厳しい。

#### 会次第 2-(4) 平成30年度鹿児島市交通事業特別会計予算について

(井手上課長が、資料に沿って説明)

発言者等	協議事項・質疑・回答等
会長	明治維新150周年記念電車製作事業について、具体的にどのようなことをするのか。
事務局	現在「かご電」という観光レトロ電車を週末に運行しているが、通常運行に利用できる観光電車を新しく導入しようとするものである。イメージとしては長崎の「みなと」で、この車両等をデザインした水戸岡鋭治氏の弟子にあたる工業デザイナーの砂田氏に内装等のデザインを委託するものである。
事務局	補足すると、観光レトロ電車は国庫補助の関係で、一般的には通常運行ができない。大河ドラマに関連づけて1月から金土日祝日の昼間の通常運行を開始したが、座席数も少ないため、朝夕の利用者数が多い時間帯の運行は厳しい状況である。そこで、明治維新150周年にちなみ、市の補助も活用して、鹿児島市出身のデザイナーに委託して比較的新しい既存車両を改装し、座席数もあまり減らさずに、通勤・通学やお年寄りなど幅広い市民が利用でき、観光面にも資する電車を、まずは1両製作するものである。完成車両がどのようなものになるか未定であるが、今後の電車のひな型として位置付けたいとも考えている。
委員	交通局跡地の対策は、いくらかかったのか。
事務局	30年2月から掘削作業と土壌入れ替えを行い、3月に工事は完了している。掘削した土壌の県外施設での処理が4月になり、現在はその処理も完了しているが、この処理費用を30年度予算として計上している。費用は土壌対策全体で約9億3千万円となった。

(14時28分 会議終了)